

平成 29 年度 第 3 回（相談支援）分科会報告書

1、開催日時：平成 29 年 12 月 20 日（金） 13 時 30 分～15 時 45 分

2、開催場所八女市役所立花支所 201 会議室

3、参加者（所属のみ）

ゆうゆう、陽だまりの里、蓮の実団地よろず屋、ねんりん、サングリーン、ココ kara、八女市役所高齢者支援係、八女市役所防災安全課、広川町役場福祉課、八女市福祉福祉課、リーベル

4、実施内容

《開催目的》

各地で災害が起こっている昨今、私たちが暮らす八女地区もいつ災害に見まわれるかわからないなか、災害が起こったとき、私たち相談支援専門員は、どのような役割が求められ、どのような動きが必要になって来るのか。緊急の際、相談支援事業所、相談支援専門員が果たすべき役割について学ぶ。また八女市の防災対策の現状を知り、どのような備えが日頃から必要かを学ぶ。

講演「災害時の相談支援専門員の役割、動きについて」

講師 熊本市障がい者相談支援センター絆 センター長 平田晴彦氏

- ・平成 28 年 4 月に発生した熊本地震。自身の相談支援センターも被災。スタッフの自宅も被災。事業所で関わっている対象者の方々に電話での安否確認は行いが、「このままでよいのか」という漠然とした不安に襲われた。
- ・熊本市で 55 ヶ所ある福祉避難所の内、被災して開設できない所もあり、実際の開設数は 28 施設。災害発生後は行政も混乱、地域のサービス提供事業所も再開の目途が立たず、どこから手をつけてよいかわからない状況で、要の相談支援専門員も通常以上に心身ともに疲れ切っている。
- ・日が経つにつれ心身ともに疲弊していく中、日本相談支援専門員協会からスタッフが派遣され、派遣スタッフの協力を得て、避難行動要支援者（障がい児・者）を対象に相談支援専門員による戸別訪問等を行い安否確認を実施することができた。
- ・自分たちだけでは行き詰ってしまったところに、各地の関係者とのネットワークや支援があったことで、今やるべきことが整理でき実行できた。支援を受け入れる力、受援力の素地を日頃から作っておくことの必要性や大切さを学ぶことができた。



○八女市の防災対策、現状、課題について（八女市役所防災安全課より説明）

- ・八女市の避難に関する防災情報の伝達方法（防災ラジオ、八女市ホームページ、FAX による情報発信等）、防災ハザードマップ（21 区画に分けて作成）、避難行動要支援者支援事業、福祉避難所についての説明。日頃の備えとして、防災ハザードマップを用いて、自分たちの事業所、施設がどの災害に弱いのかを確認しておく。また、日頃の近隣の方とのお付き合いが、有事の際のお互いの助け合いに繋がる。